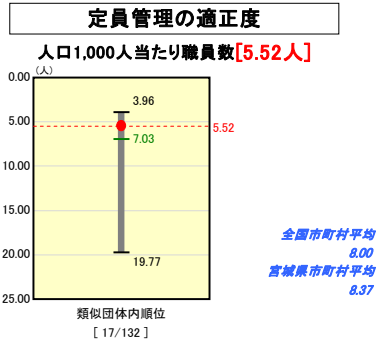
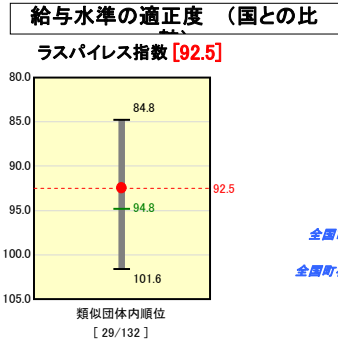
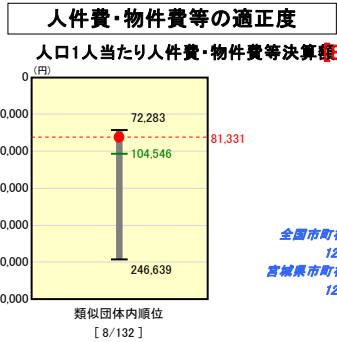
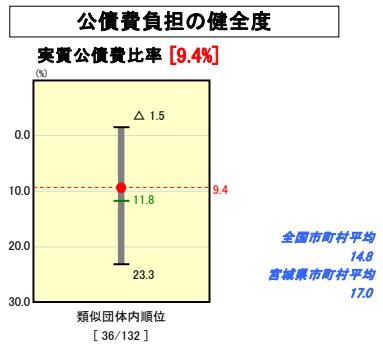
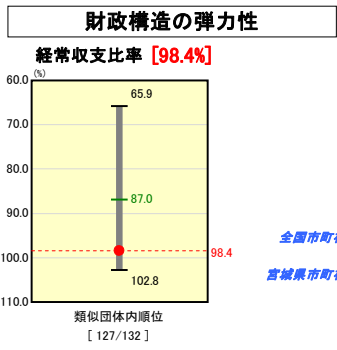
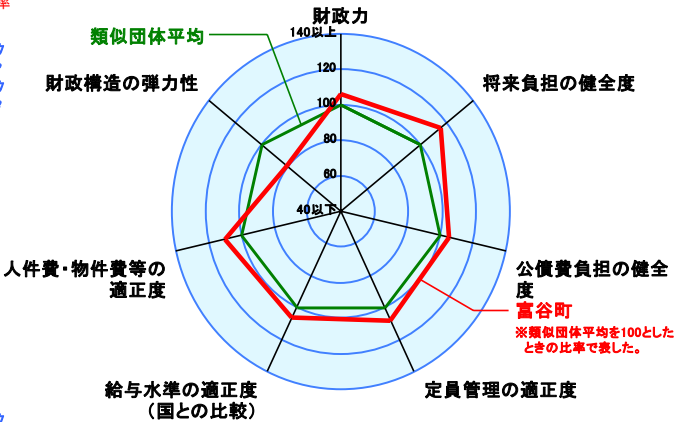
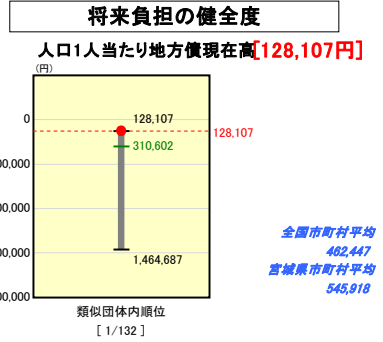
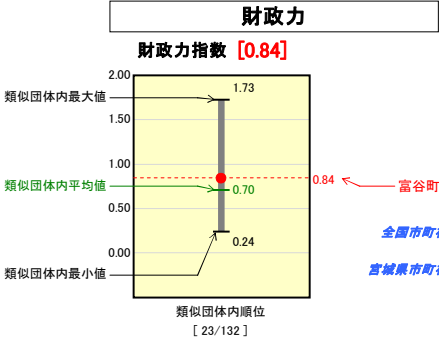


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 富谷町

人口	42,922	人(H18.3.31現在)
面積	49.13	km ²
歳入総額	8,178,445	千円
歳出総額	7,770,871	千円
	325,923	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

- 財政力指数**
・ここ6年間連続した伸びを見せており、平成17年度は前年度比0.16ポイント増の0.84となっています。近年の大規模な宅地開発による人口の増加や法人数の増加等による基準財政収入額の増加が主な要因です。
- 経常収支比率**
・普通交付税の不交付及び法人税割の大幅な減により経常一般財源が大きく減(約△2,800,000千円)になったことにより前年度比で23.2%上昇していますが、平成18年度については2年ぶりの交付団体となっているため当該年度の経常収支比率については大きく好転するものと予想しています。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
・人件費及び物件費等決算額はここ数年増加傾向にあり、今後集中改革プランによる人件費の抑制や物件費等の見直しに努めていきます。
- ラスパイレス指数**
・職員の平均年齢が低いことなどにより、全国、県内及び類似団体等全てにおいて平均を下回っています。

- 人口1人当たり地方債現在高**
・前述の減税補てん債の満期一括償還により後年度の公債費負担が大幅に改善されていることや堅調な人口の伸びにより住民1人当たりの地方債現在高は減少しています。
- 実質公債費比率**
・平成16年度に行なった減税補てん債の満期一括償還等により後年度の公債費負担が軽減されたことにより9.4%となっており、今後さらに数値は減少していくと見込んでいます。
- 人口1,000人当たり職員数**
・人口増加に伴う業務量の増加に対して、職員採用により対応していましたが、平成13年度の282人をピークに機構改革やOA化により新規採用の抑制を図ってきたこと、堅調な人口の伸びにより類似団体平均を下回っています。(平成14年度～平成18年度 △18人 △6.8%の純減)